

第 69 回 鹿児島県高等学校新人剣道競技大会 (全国・九州選抜大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿児島県剣道連盟 鹿児島県学校剣道連盟
いちき串木野市教育委員会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟剣道競技専門部
- 4 期 日 令和6年12月21日(土) 10時00分開会式, 男子個人戦, 女子団体戦
令和6年12月22日(日) 10時00分試合開始, 女子個人戦, 男子団体戦, 閉会式
- 5 会 場 いちき串木野市総合体育館

6 競技規則

- (1) 本大会は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・同細則」並びに「全国高体連剣道専門部申し合わせ事項」および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」のほか、次のとおりとする。
- (2) 団体戦は、男女別の学校対抗とし、勝者数法により勝敗を決める。尚、準々決勝までの代表者戦は自由代表者1名とする。決勝リーグにおいては全リーグ戦終了後に行う。
- (3) 男女団体戦の試合時間は4分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
男女個人戦の試合時間は4分とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行い、勝敗を決する。
- (4) 団体戦申し込みは7名のエントリー制とし、大会初日の受付でオーダー表を提出する。提出後の変更は認めない。但し、やむを得ない場合は監督会議において「選手変更届け」により選手の変更を認める。
- (5) 団体戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。
- (6) 個人戦の選手に試合不能の事態が生じた場合は棄権とする。
- (7) 竹刀は平成31年4月1日に改訂された全日本剣道連盟の規定のとおりとし、試合に使用する竹刀は検量を行い、検印を受ける。
- (8) 不正用具を使用した時は試合規則17条・19条のとおりであり、個人戦と団体戦にまたがって適用する。
ア 団体・個人戦における不正用具使用者は、以後の試合に出場できない。
イ 団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めない限り認める。
不正用具を使用した時は、全国高体連剣道専門部申し合わせ事項「4規則の運用および大会運営について(4)」のとおりとする。
- (9) 試合は総て一刀(一本の竹刀)で行うものとする。二刀での試合は認めない。
- (10) 上記の(4)・(5)の規定に違反して試合を行った場合は、そのチームを負けとする。

- 7 競技方法 団体戦は、トーナメント法により4校を選び、決勝リーグ戦により順位を決定する。
個人戦は、トーナメント法により、勝者を決定する。

8 チーム編成

団 体：男子の部、女子の部ともに1校1チーム(監督1・選手5・補欠2)※フリーオーダーとする。

※男女とも3~4名での出場を認める。運用については、以下のとおりとする。

- (1) 4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅、副将、大将」に選手を登録する。
- (2) 大会当日や大会中にやむを得ない理由で選手が5人及び4人揃わない場合は、試合前に本部へ申し出て、4人及び3人チームのオーダーに変更する。
- (3) 5人及び4人のチームが4人及び3人のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの3選手を試合前に決定できる。尚、3名の場合、次鋒・副将をあげ、4名の場合は副将をあげる。

個 人：男女とも各校4名以内

9 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法試行規則第78条の2に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。

【参考】

- 引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。
- 1 正規職員であること
 - 2 当該部活動の指導を常時行っていること
 - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

10 参加資格

- (1) 本年度県高体連加盟校在籍学生であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 年齢は平成18（2006）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成で、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数校合同チームの大会参加については、本連盟が別途に定める「複数校合同チーム大会参加規程」に従う。
- (5) 転校・転籍後6か月未満（水泳1年未満）の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りではない。（大会出場許可申請書を提出）
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) その他事項については、全国大会要項に準ずる。
- (8) 参加資格の特例による学校（生徒）の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。
- (9) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。（大会出場許可申請書を提出）
- (10) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (11) その他事項については、全国選抜大会要項に準ずる。

11 参加申込

参加申込みに際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の参加申込書により1部作成し、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードして申し込む。（「大会参加申込提出要領」参照）また、作成した参加申込書（Excelデータ）を下記メールアドレスまで送信すること。
- (2) 申込締切日 令和6年11月28日（木）15：00まで。締切日以降の申し込みは受け付けない。
- (3) 申込場所 ① 参加申込書：県高等学校体育連盟事務局が指定するファイル送信システム
② Excelデータ：takayuki1122aso@gmail.com 【送信先：専門部 阿蘇（鹿児島工業）】
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに競技専門委員長及び県高体連事務局に連絡し「大会辞退届」を県高体連事務局に提出する。

12 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 参加を予定する実人数とする。（団体戦と個人戦で重複して徴収しない。）
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。

13 抽選

- (1) 12月5日（火）午前11時から鹿児島工業高校同窓会館にて抽選会を行う。

- (2) 団体戦のシードについては今年度県総体の1位～8位を順位別に割り振る。その他についてはフリー抽選とする。但し、同地区同士での初戦の対戦は避ける(鹿児島市についてはその限りではない)。
- (3) 個人戦のシードについては今年度県総体の団体1位～4位のチームで参加申込書のNo.1選手を順位別に割り振る。但し、シード権を有する選手が出場しない場合はその位置は空ける。また、今年度県総体の団体ベスト8のチームで参加申込書のNo.1選手をベスト8シードの場所に抽選にて割り振る。また、同一校の選手が同一ブロックに入らないようにする。その他についてはフリー抽選とするが、同地区同士での初戦での対戦は避ける(鹿児島市についてはその限りではない)。
- (4) 組合せは県高体連ホームページに掲載する。

14 表 彰 団体は4位まで表彰する。個人は3位まで表彰する。

15 九州選抜大会及び全国選抜大会出場資格

- (1) 九州高等学校選抜剣道大会(沖縄県:奥武山公園・奥武山総合運動場 武道館)令和7年2月7～9日への出場は、団体戦は男女ともに上位4チーム、個人戦は男女個人戦ベスト8以上の8名が出場権を得る。
- (2) 全国高等学校剣道選抜大会(愛知県春日井市総合体育館)令和7年3月26～28日への出場は、男女とも団体優勝チームが出場権を得る。さらに、本年度のインターハイ都道府県予選出場校数の多い上位8位までの都道府県に出場枠(+1)が与えられ、本年度のインターハイのベスト8の都道府県に出場枠(+1)が与えられる。

16 連絡事項

- (1) 参加選手は全員(団体・個人とも)名札及び紅白の目印を用意すること。
 - ア 名札は、黒地に白楷書文字で学校名・姓を記し、垂れにつける。学校名は、略称は不可とする。但し五文字以上の場合可とする。
 - イ 紅白の目印は、それぞれ長さ70cm、幅5cmを基準とする。
 - ウ 選手の服装は、男女とも紺又は黒・白色とする。
- (2) 競技中の疾病・傷病等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。
- (3) 団体戦のオーダー表は各校で作成し、大会初日の受付に提出すること。(様式厳守) 学校名については、略称は不可とする。但し五文字以上の場合可とする。
- (4) 体育館の開館は8時30分以降で、生徒優先での入場になります。早朝から来場しないように保護者や関係の方へ御連絡ください。
- (5) マウスシールドは必ず着用すること。マスクの着用については各自の判断とします。
- (6) 練習会場及び時間

	体 育 館	
12月20日(金)	17:00～19:00	
12月21日(土)	8:40～9:30	女子団体は男子個人戦終了後も可(30分程度)
12月22日(日)	8:40～9:30	男子団体は女子個人戦終了後も可(30分程度)

- (7) 竹刀の検量は、下記のとおりとする。なお、両日ともに10時30分以降は、本部で行う。

	8:40～9:30	9:30～10:30
12月21日(土)	男子のみ	女子のみ
12月22日(日)	女子のみ	男子のみ

- (8) 審判監督会議は、下記のとおりとする。

	時 間	場 所
12月21日(土)	9:30～9:55	体育館フロアー
12月22日(日)	9:30～9:55	体育館フロアー